

高浜老朽原発 3・4号機の運転期間60年延長 福井県は「運転延長」の了承を撤回し廃炉を指示せよ

福井県は7月9日に、高浜原発3・4号機の20年間の運転延長を了承した。能登大地震による海岸の異様な隆起、避難道路の崩壊などの現状が明らかとなる中で、住民の不安の声も地域の自治体の意向も聞くことなしに判断された。福井県は関電に「使用済み核燃料の県外への搬出」の約束を反故にされ、関電は各原発敷地内での「使用済み核燃料の保管」を進めようとしている。政府と関電の強引な再稼働策を拒否すべきだ！

高浜3・4号機は傷だらけの老朽炉

高浜3・4号機は蒸気発生器細管に「減肉損傷」が定期検査のたびに問題となっている。関電は口先では「異物」とか「スケール」による磨耗が原因と言いつつ原因は特定できていない。関電は3・4号機の蒸気発生器は27年までに順次「交換」する予定としている。それ以外にも、電気ケーブルの絶縁低下問題、制御棒落下事故なども原因を特定せずに稼働が続けられている。

40年以上の前の技術と素材によって建設されたシステムはその一部を修理したり取り替えて運転を延長する



高浜原発の全景

ことは危険である。関電は高浜1・2、美浜3、そして高浜3・4号機の5台の老朽原発は直ちに廃炉にすべきである

世界で破綻し続ける原発延命策

核融合炉開発9年の遅れ！

国際的な核融合実験炉をめざす組織ITERは米国、欧州連合、ロシア、中国、韓国、インド、日本で構成されている。仏南部に建設され2025年に実験開始の予定であったが、コロナ禍と部材の問題、資金不足で延期となり、2034年まで遅れることが発表された。重水素とトリチウムによる核融合運転も大幅に遅れて2039年開始となった。

どうなるアンモニア火力発電？

世界が石炭火力発電を停止させている中で、日本はアンモニア混燃によって石炭火力を残そうとしている。政府からの巨額の支援が前提であり、実質的には石炭を代替したアンモニア分だけが減少するだけで、「脱炭素」の効果は疑わしい。またアンモニアを精製するときのCO2の排出、マイナス33度で液化しての搬送など極めて不経済である。

報告

柏崎刈羽原発の再稼働を許さない

【2024.6.28 首都圏行動】（国会議員会館）

柏崎刈羽原発、女川原発などの福島事故炉と同じ沸騰水型原発の再稼働が問題となっている。6月28日に東京で「柏崎刈羽原発の再稼働を許さない！首都圏行動」が開催された。参加されたFさんから集会の報告をいただいたので掲載する。院内集会は会場満席の120人が参加し、集会後に都内デモが行われ、東電本社前で抗議行動が行われた。



柏崎刈羽原発全景

柏崎刈羽原発再稼働の問題点(桑原さん)

「規制庁・規制委を監視する新潟の会」の桑原さんから、経過と現状、「再稼働の問題点」が報告された。

昨年12月に規制委が適格性再確認し、今年3月には斉藤経産相、村瀬資源エネルギー庁長官が知事を説得しに来県。6月12日には検査が完了した。

①柏崎刈羽原発では、液状化過小評価、免震重要棟の不適合隠蔽、ICカード不正、パソコンから出火、洗濯機の火災事故などが頻発している。それを小手先の「是正措置、再発防止」だけで放置。

②中越沖地震(2007)で被災した7号機等は原子炉や設備機器の地震に対する対応力が弱くなっている。

③能登大地震でも問題となった避難経路の問題は、政府が「全額国費で」と口先サービスだけ。

突貫工事、間に合わせの再稼働、その先には何が起きるのか？事故が起きたら避難できるのか？

星野議員から報告

柏崎市議員の星野さんから報告が行われた。柏崎刈羽原発は2017年に規制委の合格はしたもの、数多くの不祥事、トラブルで運転は出来ていない。今回の能登大地震で問題となった避難について、柏崎市民も「原発事故が起きても、逃げられない」と不安感が増大している。ただ、**事前了解権を持つ柏崎市長は再稼働に前のめりである。市長の再稼働条件「燃料プールの保管量をおおむね80%以下に」をクリアするために、東電は使用済み核燃料の排出を進めようとしている。**

核と軍事施設の下北半島からの報告 中道さん

むつ中間貯蔵施設の現状について「搬入阻止実行委員会」の中道さんから報告。ボロボロの再処理工場！むつ中間貯蔵を許せば、電事連による共同利用化、青森に全国の核のゴミが集中する！

敦賀原発は直下に活断層で稼働は(長周 7/1)

6月28日に開かれた規制委では、原子炉直下に活断層があることが問題となり、不適合との判断の可能性が。5月に審査チームが行った審査では「活断層の可能性を否定できない」と報告。原電側の反論について、科学的根拠がないと否定的である。次回会合で最終判断となる可能性がある。

川崎重工にたかる裏金自衛官(朝日 7/6)

潜水艦などの製造・補修を行う川重で、この数年間だけでも十数億円の裏金によって自衛官が要求する家電やゲーム機、飲食接待が行われてきた。自衛官の「たかり」体質そのものである。



自衛官の採用人数 計画の半分(朝日 7/9)

8日に防衛省は、「2023年度の自衛官の採用数が、募集計画の50・8%の過去最低となった」と発表した。自衛隊は定数 24・7 万人に対して約2万人不足している。自衛隊内でのハラスメント問題、海外派兵の動きなどが影響していると考えられる。

兵庫県知事のパワハラが命を奪った(朝日 7/10)

兵庫県の斎藤知事の「もらい物体質」「ハラスメント」は県庁内では公然の事実。それを内部告発した西播磨県民局長に対し、「うそ八百」と否定し、「公務員として失格」として懲戒処分。これに対して「百条委員会」が設立され調査を開始。「内部告発」に対する斎藤知事の一方的攻撃が問題とされていた。維新議員からの攻撃に堪えれず元局長は自死。副知事は責任を取って退職したが、知事は退任を拒否。

環境相の再会談 水俣病認定ゼロ回答(朝日 7/12)

マイク音声カット問題による「再協議」が行われた。今回は形式的には長時間となった。しかし、水俣病の認定基準の改定などについては「ゼロ回答」。内容的な不誠実さが目立つばかりで何も解決しなかった。

報告 7・7 記念集会(東京)の報告

盧溝橋事件から87年目の7日に「日中友好8・15の会」「撫順の奇蹟の会」「不戦兵士を語り継ぐ会」「関東日中平和友好会」の4団体の主催で、中国大使館一等書記官を迎え、集会が開かれた。会場には約80人が参加し、山田朗さんが「盧溝橋事件はなぜ全面戦争へと拡大したのか」を講演した。



山田朗さん講演

報告 7/13 大阪関西万博中止へ緊急提言講演



桜井照雄さん講演

大阪維新が、兵庫県の子どもたちを危険な「万博」に動員しようとしていることに反対し、桜田照雄さんを講師に招いて宝塚で学習会。約40人が参加して学んだ。

報告 7/14 今すぐ停戦！パレスチナに自由を

7月14日大阪市内の新町北公園で関西ガザ緊急アクションが開催され、約350人が参加した。主催者挨拶に続き、マクルーバからパレスチナの現状と闘いの提起、以後多数の参加者から発言が行われた。

集会後、御堂筋をナンバまでデモ行進した。



案内 7/27 アジア太平洋戦争・兵士たちが見た戦場



高槻戦争展2024の特別企画として、山田朗さんの講演会が予定。230万人もの兵士命を落とした。食料も武器の補給もなく栄養失調、飢餓伝染病に倒れた兵士...

日時: 7月27日(土)13:30~
場所: 高槻城公園芸術文化劇場 北館2階展示室

紹介 『誰も書かなかった統一教会』 著:有田芳生 集英社新書(2024/5/22)

自民党と癒着し一部一体化していた「反共政治団体」を隠蔽し、金の問題だけに矮小化するな!

自民党と旧統一教会との関係は表向きは別として地方議員レベルや選挙区での関係は継続しているといわれている。統一教会との関連は単なる支援ではなく、反共活動、憲法改定、同姓婚問題、夫婦別姓などの封建的家族主義での政策レベルでの「共闘関係」を築いてきた。そうした元統一教会と自民党の関係については事実も明らかにされず、隠然と継続されている。マスコミも殆んど報道も批判もしていない。



巨額の献金、信者の悲劇

マスコミや国会での審議は、巨額の献金の結果、信者の家庭が破壊されたことについての責任追及と返金、賠償に集中している。その献金を利用して行われた日本、韓国、朝鮮、米国での

旧統一教会の政治活動や経済活動については何も明らかにされていない。

有田芳生「誰も書かなかった統一教会」

今回発行されたこの書は「統一教会がどのように生まれ、世界的冷戦構造の中でどう展開し、日本では反共団体としてどう活動したのかを本にされた。

序章 韓国の教団本部を歩く

- 第1章 安倍元首相が狙われた理由
- 第2章 政治への接近
- 第3章 政治への侵食
- 第4章 統一教会の北朝鮮人脈
- 第5章 フレイザー委員会報告書
- 第6章 「世界日報」編集長襲撃事件
- 第7章 「赤報隊事件」疑惑
- 第8章 安倍晋三と統一教会

あとがき